

# 平成 22 年度 財団法人 J K A 補助事業

## 1. 事業名

平成 22 年度

青少年の創造性開発及び知的創造活動奨励等補助事業

## 2. 事業の目的

知的創造の担い手となる青少年を対象とした創意工夫活動の支援及び国際交流等により青少年の創造性開発及び知的創造活動を推進し、もって機械工業の振興に寄与する。

## 3. 実施事業

[①青少年等の創造性開発育成](#)

[②国際発明振興団体連携促進](#)

## 4. 実施内容

①青少年等の創造性開発育成事業

(I) 少年少女発明クラブ事業

i) 全国の少年少女発明クラブにおいて創意工夫活動を実施

全国 205 の少年少女発明クラブにおいて、科学的で独創的な発想に基づく創作活動を実施した。



【湖西少年少女発明クラブ開校式】



【少年少女発明クラブでの活動風景】

ii) 指導者育成の会議及び研修会の開催

全国の少年少女発明クラブの運営・指導に携わる関係者が一堂に会する全国会議を東京において開催した。また、ブロック毎、都道府県毎の研修会を開催した。



【少年少女発明クラブ全国会議】

iii) 地域アイデア創作教室を実施

地元の課題に子供たちが取り組む地域アイデア創作教室を全国 3 箇所において実施した。



【石岡市での活動】



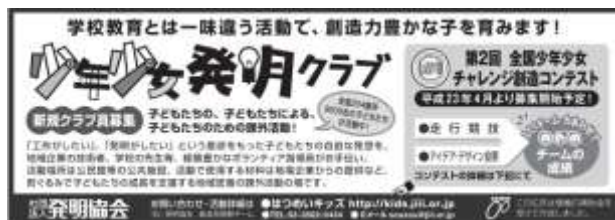
【豊後高田市での活動】

vi) 広報活動

「少年少女発明クラブニュース」及び「少年少女発明クラブニュースWEB版」をそれぞれ6回発行した。また、読売新聞に少年少女発明クラブの周知広告を掲載した。



【少年少女発明クラブニュース】



【周知広告】

(II) 「全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」事業

知的創造活動の成果発表の場としての全国規模の「第1回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」を開催した。

全国90ヶ所において地区予選会を開催し、優秀なチームによる全国大会を東京において開催した。



【全国大会 競技の様子】



【全国大会 集合写真】

## ②国際発明振興団体連携促進事業

- (Ⅰ) ベトナムで開催された「青少年発明工夫展」に、当協会が主催する全日本学生児童発明工夫展において優秀な成績を収めた青少年をメンバーとする日本代表団を派遣し、各国の青少年との交流を通じて国際感覚を養うとともに海外を含む広い視野に立った発明及び知的財産に関する意識の向上を図った。
- (Ⅱ) 各国発明奨励団体の代表者が参加して開催する発明奨励国際フォーラム(IFIP) 第7回総会(ベトナム開催)に代表を派遣し、青少年の創造性育成に関する国際的な取組みの連携強化に向けた諸方策について協議を行った。



【日本ブースでの集合写真】



【表彰式での集合写真】